

43. PTCA 後におけるタリウム心筋 washout について

植原 敏男 西村 恒彦 汲田伸一郎
下永田 剛 林田 孝平 浜田 星紀

(国循セ・放診)

PTCA 後のタリウム運動負荷心筋シンチグラフィ (Ex-Tl) は、PTCA の効果判定、再狭窄の検出に有用であるが、時に逆再分布現象や虚血の回復が遅延することがあり、診断に迷うことがある。今回、PTCA 前後の Ex-Tl について虚血心筋部の washout rate (WR) の変化を経時的に検討した。対象は左冠動脈前下行枝の 1 枝障害のべ 83 例で、25 例には前壁心筋梗塞を合併している。全例確認冠動脈造影を施行されている。washout rate の算出は LAO 45° planar 像にて ROI 法により行った。原則として Ex-Tl は PTCA 前、後 1 か月以内、3 か月、6 か月に施行された。

この結果、1) PTCA 1 か月以内の WR, %WR は、MI の有無、再狭窄の有無で差はなかった。2) PTCA 3 か月後の WR, %WR は再狭窄群で有意に低かった。3) PTCA 後の High %WR (Reverse RD) は、再狭窄 (-) 群では 1 か月以内に 3 か月後にも同頻度に認め、梗塞の既往には有意差はなかった。再狭窄 (+) 群でも 1 か月以内には同頻度で High %WR を認めたが、3 か月後には 1 例も見られなかった。したがって High %WR は、その時点で再狭窄のないことを示唆するが、将来も再狭窄になり難いことを示すものではなかった。4) PTCA 1 か月以内、3 か月後の Low %WR は、将来再狭窄のない群でも約 18% に見られた。しかしこの時の %Tl uptake は比較的高く胸痛・心電図変化もほとんど無かった。5) High %WR, Low %WR とともに、再狭窄 (-) 群では、PTCA 6 か月以降にはほとんど見られなかった。

44. ^{201}Tl 安静時少量追加投与方法により可逆的虚血心筋の判定は可能か?——冠動脈バイパス術前後での検討——

進藤 真 大谷 弘 玉木 長良
高橋 範雄 米倉 義晴 小西 淳二
(京大・核)
平田 和男 伴 敏彦 (同・心外)

目的：運動負荷 Tl 心筋 SPECT の安静時少量追加投与方法にて分布の改善の見られる領域が冠動脈バイパス術後に局所心機能の改善の見られる可逆的虚血心筋かどうか

について検討した。

対象と方法：冠動脈バイパス手術を施行した虚血性心疾患 26 例を対象とし、術前後に運動負荷 Tl 心筋シンチと RI 心プールシンチを施行、術前には Tl の遅延像撮像後に Tl 40 MBq (3.78 mCi) を追加投与後再び撮像した。左室心筋を 5 区域に分け、運動負荷 Tl 心筋 SPECT による再分布の程度と術前後の血流、壁運動改善について検討した。

結果：遅延像で固定性欠損あるいは不完全再分布の区域の 30~40% で少量追加投与像で分布の改善がみられた。術前の再分布の有無と術後の血流、壁運動改善との区域毎の比較では全体で 64.5% に血流改善が、59.1% に壁運動改善がみられた。そのうち遅延像、少量追加投与像ともに再分布を認める区域の 80.9% に血流改善を 73.5% に壁運動改善をまた、遅延像で固定性欠損で少量追加投与にて新たに再分布を認めた区域の 80% に血流の改善を 71.4% に壁運動の改善を認めた。それに対して、遅延像、少量追加投与像共に再分布の見られない区域に改善を認めたのは血流改善の区域において 15.8% 壁運動 22.2% のみであった。

結論：遅延像で再分布の見られる区域だけでなく、遅延像で固定性欠損で少量追加投与で新たに分布の改善がみられる区域も心機能の改善がみられた。少量追加投与像でも分布の改善の見られない区域では術後に心機能の改善が期待できなかった。少量追加投与方法は運動負荷 Tl 心筋 SPECT の遅延像で再分布の見られない区域の viability の評価を向上させる有用な方法と考えられた。

45. 心筋梗塞症例における Silent myocardial ischemia と予後との関連についての検討

下永田 剛 西村 恒彦 植原 敏男
林田 孝平 汲田伸一郎 浜田 星紀

(国循・放診)

目的：心筋梗塞症例における Silent myocardial ischemia (SMI) と予後との関連を検討するため、退院前に運動負荷心筋スキャン (EX-TL) を施行した心筋梗塞症例にて、2 年間の追跡調査を行った。

対象：有意の冠動脈狭窄を有し、EX-TL にて胸痛の出現しなかった急性心筋梗塞 96 例である。平均年齢 60 ± 10、発症から EX-TL 施行までの期間は全例 3 か月以内である。

方法：EX-TL は座位自転車エルゴメータを用いた漸